

## 貸し出し図書(1)

No.	図 書 名	備 考
001	<p><b>【ロータリー・モザイク】</b></p> <p>1972年 A 5判、372ページ ハロルド T. トーマス 著 松本 兼二郎 訳</p>	<p>いかにしてロータリーが始められたか、そして、なぜロータリーの方針とそのプログラムが史実の示すような道を辿って、生成発展してきたかを解明しようとしている。著者は、1891年ニュージーランドに生まれ、1959～60RI会長。訳者は1961～62年度第370地区ガバナー。</p>
002	<p><b>【我が自叙伝】</b></p> <p>1980年 A 5判、167ページ ハーバート J. テーラー 著 菅野 多利雄 訳</p>	<p>著者は、1930年代の世界恐慌時代に破産に瀕したアルミ製品会社を見事に再建したが、経営方針として氏が発案した「四つのテスト」は、国際ロータリーに採用され、ロータリアンの言行の指針となっている。 訳者は、1976～77年度第352地区ガバナー、1983～85年RI理事、塩釜RC会員。</p>
003	<p><b>【ロータリーの発生史】</b></p> <p>1971年 B 5判、53ページ 小堀 憲助 著</p>	<p>1905～23年、初期ロータリーを主対象として、ロータリーの思想、奉仕概念の発生、奉仕の分野の拡大を説く。</p>
004	<p><b>【歌と世相で綴る ロータリー 75年史】</b></p> <p>1980年 B 5判、4ページ 神戸東ロータリークラブ 編</p>	
005	<p><b>【火種はみんな持っている】</b></p> <p>1965年 A 5判、152ページ 松本 兼二郎 講演寄稿選集 八幡ロータリークラブ</p>	<p>八幡RC創立60周年を記念して出版したロータリーのあらゆる分野にわたる随筆集。</p>
006	<p><b>【ロータリー入門書】</b></p> <p>1979年 新書判、147ページ 前原 勝樹 著</p>	<p>ロータリーの入門の定本。あらゆる分野にわたり、ロータリー入門の書として広く活用されている。 新入会員贈呈用として適切。 著者は2560地区パストガバナー。</p>
007	<p><b>【ロータリー社会奉仕事例集】</b></p> <p>1976年 新書判、229ページ 前原 勝樹 著</p>	<p>ロータリーの社会奉仕の本質と、本質に迫る手段としての事例を説く。 別掲『ロータリー入門書』と併せてロータリアンの必読の書。</p>

## 貸 し 出 し 図 書 (2)

No.	図 書 名	備 考
008	<p><b>【ロータリー職業奉仕事例集】</b></p> <p>1975年 新書判、318ページ 前原 勝樹 著</p>	<p>職業奉仕を説くのに何故事例を重視するか、との著者の持論から始まる各職業毎の事例集。</p>
009	<p><b>【前原ガバナー講話集】</b></p> <p>1975年 B6判、87ページ 桐生ガバナー事務所編</p>	<p>ロータリーを平易に説く著者の独特の解釈に惹かれて読み進むうち、知らず知らずにはロータリーに対する理解が深まる。</p>
010	<p><b>【ようこそロータリーへ】</b></p> <p>1983年 改訂増補版 新書判、77ページ 佐藤 千寿 著</p>	<p>1974年、第358地区年次大会において、参加者に、著者佐藤ガバナーから贈られたものの増補改訂版。新会員の引き手として好適。</p>
011	<p><b>【フォアウェイ・テストは 前進する】</b></p> <p>1972年 B6判、39ページ 大阪ロータリークラブ 四つのテスト委員会</p>	<p>1971年9月号の『ザ・ロータリアン』に掲載された原文の翻訳。発祥から具体的な適用まで解説。</p>
012	<p><b>【職業奉仕の勤どころ】</b></p> <p>1971年 B6判、93ページ 第2660地区職業奉仕委員会編</p>	<p>職業奉仕の理念とは何か、その具体的実践方法について解説。神守源一郎氏、直木太一郎氏ほかの簡素な説明が載っている。</p>
013	<p><b>【米山梅吉伝 創意と奉仕の一生】</b></p> <p>1995年 A5判、166ページ 佐々木 邦 著</p>	
014	<p><b>【サービス思想の 意味するもの】</b></p> <p>1972年 B6判、66ページ 大阪ロータリークラブ</p>	<p>小冊子。サービスの本体に迫ろうとする好著。</p>

## 貸 し 出 し 図 書 (3)

No.	図 書 名	備 考		
015	<p><b>【ロータリー役員必携】</b></p> <p>1989年 新書判、314ページ 石井 省三 著</p>	<p>ロータリーの運営についての実務を体系化して判りやすく解説。</p> <p>著者の『幹事実務入門』(S.50)『ロータリー実務入門』(S.51)の両書を全面的に改訂。増補したもので、新しいクラブ役員、理事、委員長には最適の書。</p>		
016	<p><b>【ポール・ハリスの故地をたずねて】</b></p> <p>1981年第256地区桐生大会記念 講演 B6判、25ページ 前原 勝樹 著</p>	<p>著者のポール・ハリスの故地訪問紀行。</p>		
017	<p><b>【ロータリー夜話】</b></p> <p>1987年 B6判、116ページ 津田 進 著</p>	<p>著者は、1984年～85年第2590地区ガバナー、現ロータリー文庫運営委員長。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>第一部</p> <p>ポール・ハリスの最初の論文 会員増強の中心課題 童心 綱領の第一 シカゴ規定審議会 からなる珠玉編。</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>第二部</p> <p>公式訪問余話 マレーシアの旅 地区協議会報告</p> </td> </tr> </table>	<p>第一部</p> <p>ポール・ハリスの最初の論文 会員増強の中心課題 童心 綱領の第一 シカゴ規定審議会 からなる珠玉編。</p>	<p>第二部</p> <p>公式訪問余話 マレーシアの旅 地区協議会報告</p>
<p>第一部</p> <p>ポール・ハリスの最初の論文 会員増強の中心課題 童心 綱領の第一 シカゴ規定審議会 からなる珠玉編。</p>	<p>第二部</p> <p>公式訪問余話 マレーシアの旅 地区協議会報告</p>			
018	<p><b>【ロータリークラブ】</b> —その理論と実態と批判—</p> <p>1982年 新書判、248ページ 小堀 憲助 著</p>	<p>ロータリークラブに所属していない一般の人達に、ロータリー運動の真の姿を理解してもらう為に書かれたもの。</p>		
019	<p><b>【ロータリー・ニュース】</b></p> <p>1973年 A5判、78ページ 直木 太郎 著</p>	<p>著者の随筆集とも言えるもの。ロータリーの歴史あり、哲学あり、3分間情報の資料としても好適の珠玉編。 (神戸RC週報に掲載されたものを一冊にまとめたもの)</p>		
020	<p><b>【ロータリーに関する180のQ &amp; A】</b></p> <p>1980年 A5判、60ページ 山川 久明 編</p>	<p>1980年の第250地区 I G F の為に書かれたもの。 編者は1979～80年度第250地区のガバナー。</p>		

## 貸 し 出 し 図 書 (4)

No.	図 書 名	備 考
0 2 1	<p><b>【これがロータリー】</b></p> <p>1981年 A 5 判、120ページ 小中 義美 著</p>	ロータリー副読本として利用できる参考書。
0 2 2	<p><b>【われらのつどい】</b> －ロータリー物語 (一)－</p> <p>1964年 A 5 判、99ページ 直木 太郎 著</p>	<p>日本でのロータリーの足跡を詳記。 特に、ロータリーの創立より日本のロータリーが一時国際ロータリーを離脱するまでを詳記。</p>
0 2 3	<p><b>【ロータリアンハンドブック】</b></p> <p>1989年 B 6 判、54ページ 発行者 安永 智徳</p>	新会員用の、簡便に理解し易いロータリー教本。
0 2 4	<p><b>【ロータリーの日本化】</b> －大夢翁土屋元作伝－</p> <p>1989年 B 6 判、368ページ 日出 R C</p>	第272地区出身であり、かつ、日本のロータリーの草創期の大先覚者であった土屋元作翁を掘り起こし、一冊の本にまとめたもの。
0 2 5	<p><b>【ロータリーにおける 思考と行動】</b></p> <p>1972年 B 6 判、128ページ 菅野 多利雄 著</p>	<p>第1部はロータリークラブの目的と行動を判りやすく解説した新入会員用の初歩的なロータリー読本。 第2部は後にR I 理事となった氏の、若き日のロータリー観が述べられている。</p>
0 2 6	<p><b>【医の奉仕】</b> －五十余年医の道を歩む－</p> <p>1986年 A 5 判、322ページ 小野 康平 著</p>	ロータリー歴33年の著者が、ロータリー、職業を通して奉仕とは何か？を探求したもの。

## 貸 し 出 し 図 書 (5)

No.	図 書 名	備 考
027	<b>【ロータリーあれこれ】</b> -川崎RC創立15周年記念版-  1966年 B6判、142ページ 笹部 誠 著	第359地区PG笹部誠氏が刊行した9冊の同名の書を川崎RC創立15周年を機に集約して1冊としたもの。氏のロータリーに対する深い洞察が随所に見られる好エッセイ集。
028	<b>【ロータリーあれこれ】</b> -川崎RC創立20周年記念版-  1971年 B6判、171ページ 笹部 誠 著	No.027【ロータリーあれこれ】の統計を訂正、追加し、その後改められた規定に添うようにしたもの。
029	<b>【続ロータリーあれこれ】</b>  1979年 B6判、32ページ 笹部 誠 著	No.028【ロータリーあれこれ】の続編。
030	<b>【ロータリー発生史】</b>  1972年 B6判、91ページ 小堀 憲助 著	昭和46年4月17日東京で行われた千種会第1回研修会においてのスピーチを綴ったもの。 No.003に加筆したもの。
031	<b>【ロータリー通解】</b>  1988年 A5判、69ページ ガイ・ガンディガー 著 小堀 憲助 著	アメリカ・フィラデルフィアクラブ会員、ガイ・ガンディガー著の小冊子を小堀憲助氏が日本語訳したもの。 末尾に1923年国際大会の決議第34号が資料として掲載されている。
032	<b>【ロータリー思想の 理論構造】改訂版</b>  1971年 B5判、116ページ 小堀 憲助 著	昭和46年8月開催された千種会第3回研修会での小堀氏の基調スピーチをもとに編集したもの。
033	<b>【ロータリーの原点】</b>  1985年 B6判、63ページ 小堀 憲助 著	小倉東ロータリークラブ創立25周年記念特別講演をまとめ小冊子にしたもの。

## 貸 し 出 し 図 書 (6)

No.	図 書 名	備 考
034	<p>【ロータリーの初心を たずねて】</p> <p>1971年 B6判、54ページ 小堀 憲助 著</p>	<p>著者が第352地区名川RCで行った初期ロータリー史に関する講演をまとめたもの。</p>
035	<p>【ロータリアン必携】</p> <p>1982年 A5判、7冊 国際ロータリー</p>	<p>経験豊かなクラブ指導者にも、新ロータリアンにも等しく役立つ豊富な情報が記載されている。 “総論” “職業奉仕” “社会奉仕” “国際奉仕” “クラブ奉仕” “青少年の為の諸活動” “ロータリー財団” の7部門</p>
036	<p>【ロータリアン必携】</p> <p>1995年、3冊 国際ロータリー</p>	<p>No.035【ロータリアン必携】の追加版。 “ロータリーの概観” “奉仕への献身” “ロータリー財団” の3部門。</p>
037	<p>【我が分区のIGF (岩見沢RCを中心に)】</p> <p>1989年 B5判、16ページ 岩見沢東ロータリークラブ</p>	<p>1988～89年、第3分区でのIGFの記録誌。</p>
038	<p>【ロータリーにおける 社会奉仕を考える】</p> <p>1978年、57ページ 稲田 又男 著</p>	
039	<p>【奉仕こそが我がつとめ Service is My Business】</p> <p>1956年改訂発行 B6判、143ページ 小林 雅一 訳</p>	<p>国際ロータリー発行の『Service is My Business』を東京RCの元会長、小林雅一氏が翻訳したもの。</p>
040	<p>【我等のなりわい －職業奉仕の手引－】</p> <p>1976年 B6判、106ページ RI第362地区職業奉仕委員会 編集</p>	<p>クラブ活動としての職業奉仕に取り組むための道しるべ。</p>

## 貸し出し図書(7)

No.	図 書 名	備 考
041	<b>【平和への七つの道】</b>  1959年 A5判、118ページ 国際ロータリー	ロータリアンが世界の平和に向かってすすんでいる「道」について書かれたもの。
042	<b>【おゝロータリアン】</b> -職業奉仕とは-  1975年 B6判、84ページ 金沢北ロータリークラブ	職業奉仕の基礎を訓えるロータリアン必読の教科書。
043	<b>【国際ロータリー 日本50年史稿】</b>  1970年 B5判、209ページ 直木 太郎 著	
044	<b>【東京ロータリークラブ 50年のあゆみ】</b>  1970年 変形A4判、146ページ 東京ロータリークラブ	
045	<b>【ロータリー日本五十年史】</b>  1971年 B5判、430ページ ロータリー日本五十年史編集 委員会	
046	<b>【ロータリー日本六十年史】</b>  1982年 B5判、404ページ ロータリー日本史委員会編	

## 貸 し 出 し 図 書 (8)

No.	図 書 名	備 考
047	<p><b>【わがロータリーへの道】</b>                      -抄録-</p> <p>1978年                      B5判、98ページ                      ポール・ハリス 著                      鈴木 徹                      竹山 涼一                      若狭 武司 共訳</p>	<p>ポール・ハリスの三部作『The Founder of Rotary』                      『This Rotarian Age』『My Road to Rotary』の最後のものを当地区の竹山PG他が訳したもの。                      訳自体が名文で読む人に感動を与える。</p>
048	<p><b>【ロータリーへの私の道】</b>                      -抜粋-</p> <p>第2版                      B5判、102ページ                      ポール・ハリス 著                      国際ロータリー 訳</p>	<p>上記の抄録をRI本部で翻訳したもの。</p>
049	<p><b>【職業奉仕の研究】</b></p> <p>1980年                      18ページ                      岐阜地域RC研究資料                      前原 勝樹 著</p>	<p>岐阜地域のロータリー研究会における前原勝樹パストガバナーの講演。小冊子ではあるが、全5章からなり、職業奉仕の何であるかが簡明に述べられている。職業奉仕を理解するためには特に、前半の3章(第1章:職業奉仕の位置付け 第2章:職業奉仕の発生と展開 第3章:職業奉仕の基本精神)が有効。</p>
050	<p><b>【職業奉仕について】</b></p> <p>1967年                      42ページ                      宮崎RC 岩切 章太郎                      熊本南RC 右田 道夫</p>	<p>1967(昭和42)年の第370地区年次大会の職業奉仕部門の資料。岩切章太郎氏と右田道夫氏の対談の形式をとっているが、宮崎交通の社長としても著名な岩切氏の職業観があまりす所無く述べられている。</p>
051	<p><b>【会員推薦に必要な                      ロータリーの知識】</b></p> <p>1989年                      54ページ                      山崎 栄一 著</p>	<p>会員を推薦する為の手引書であるが、入会候補者へのインフォメーションにも好適の書。</p>
052	<p><b>【フォアウェイ・テストの                      日本語訳は正しいか】</b></p> <p>1974年                      20ページ                      大阪RC 塚本 義隆 著</p>	<p>フォアウェイ・テストは物差である。行為に出る前に正しい判断を下す、そのための尺度に利用されるものであるというハーバード・テーラーの意向に賛同する著作が、日本語訳の誕生のいきさつと、その訳語が正当か否かを論ずる。</p>



## 貸 し 出 し 図 書 (9)

No.	図 書 名	備 考
053	<b>【職業奉仕委員会活動について考える】</b>  1989年 34ページ R I 第254地区職業奉仕委員会	昭和51年に発刊された福地義男パストガバナー（当時は地区職業奉仕委員会委員）編集の「職業奉仕の手引」を、職業奉仕の新方針が提示されたのを機に新しい資料を追補収録して再刊されたものであるが、職業奉仕委員長には絶好の手引書である。
054	<b>【ロータリーの理想と友愛】</b>  1980年 295ページ ポール・ハリス 著 米山 梅吉 訳	ポール・ハリスの3部作の一つ『This Rotarian Age』の訳。1935（昭和10）年R Iから出版されたものを、翌年米山梅吉氏が翻訳したものであるが、氏独特の麗筆による翻訳も素晴らしい。
055	<b>【ロータリーのしるべ】</b>  1990年 B 5 判、104ページ 広島県8 R C	広島市内8 R Cの『ロータリーのしるべ』編集委員会の手によるもので広島市内のロータリーに関する記述が多いが“ロータリー小辞典”などが含まれており、新会員には参考になる。
056	<b>【常識関門】</b>  1937年 B 6 判、203ページ 米山 梅吉 著	米山梅吉翁の生涯と思想を知るためには最適の書。「常識とは畢竟健全にして最良の判断をもたらすべきものである」「禅もまた常識である」などの言葉に翁の意図する“常識”の意味を窺うことができる。また、第2部：思い出には少年時代・青年時代・米国留学・三井入社までの思い出が綴られている。
057	<b>【ロータリーのイメージ】</b> ー心に描かれた世界ー  1991年 182ページ	世界でロータリーの活動や規模についてご存知のない方のために、世界の隅々から寄せられた物語を生き生きと劇的に伝えている写真集。
058	<b>【ロータリーに関する十四の断章】</b>  1973年 147ページ 松井 幸雄 著	小堀憲助氏の講義、著書を参考として書かれ、ロータリーの功德についての原理解説を試みている。
059	<b>【ロータリー財団要覧】</b>  185ページ	ロータリー財団の全てに関する情報を容易に参照出来るように作成されている。又、この「要覧」に異なる点は基本的なインフォメーションを一つの資料として要約している。

## 貸 し 出 し 図 書 (10)

No.	図 書 名	備 考
060	<b>【東京ロータリー クラブの70年】</b>  1990年 185ページ 東京ロータリークラブ	1920年第一次大戦不況のなか米山梅吉ら24名で我が国最初のロータリークラブが誕生し、70年経った現在不幸かつ苦難を乗り越えて成長した過程を目で見た歴史で綴っている。
061	<b>【ロータリーの広報のあり方】</b>  1990～91年度、15ページ	R I 第264地区第1回クラブ広報委員長会議ロータリー活動をマスコミに取り上げてもらうために、マスコミの立場で語った当時の日本経済新聞和歌山支局長の講演記録。
062	<b>【国際ロータリークラブ 第70区第一回 クラブ・アッセンブリー】</b>  10ページ	昭和6年9月19日京都ホテルにて開催された国際ロータリークラブ第70地区の第1回アッセンブリーの記録。冒頭米山梅吉の演説が記録されている。
063	<b>【ロータリーに就いて】</b>  1930年 井坂 孝 著	昭和2年6月、横浜ロータリークラブの設立に際し、第70地区のガバナーを務めることになる同クラブ井坂孝が「ロータリーとは如何なるものか」を説明したもの。
064	<b>【昭和九年八月 ロータリーを語る】</b>  国際ロータリー第70区 区代表 村田 省蔵	ロータリーの定款、細則、慣習等を根本として、通俗的にロータリーとはどんなものかを記述した物です。 ロータリーを未だ知らぬ人、新たにロータリークラブ会員となった人にも役立つものです。
065	<b>【日満ロータリー月報 日満ロータリー連合会 創立記念号】</b>  1939年（昭和14年11月）	昭和15年5月第1回、日満ロータリー連合会が横浜で開催されたが、その後R I を脱退したのでこれ以後開催されなかった。 創立記念号の中に東部（第70区）として「函館倶楽部」の近況が掲載されている。
066	<b>【日満ロータリー第一年次 総合大会案内】</b>  1940年（昭和15年5月）	大会当日の配られた資料（パンフレット、小冊子）
067	<b>【日満ロータリー 総合会の機構 ロータリー倶楽部の構成】</b>  1940年（昭和15年）	国際ロータリーの主義・理想を我国に援用して普及させる為、昭和14年のクリーブランド世界大会に日満ロータリー会員の熱意が改革案として提出され、主張が通り新規約となった。

## 貸し出し図書(11)

No.	図 書 名	備 考
068	<b>【日満ロータリー総会規約 及ロータリー定款及細則】</b>  1940年（昭和15年）	昭和14年6月13日、国際ロータリー中央事務局より日満両国におけるロータリー機構改正に関するR I 理事会の決議として交付されたものに準じて作られた総会規約と定款及細則。
069	<b>【定款及細則】</b>  1938年（昭和13年4月） 国際ロータリー第70区 ガバナー事務所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロータリー倶楽部標準定款及細則</li> <li>・国際ロータリー定款及細則</li> </ul>
070	<b>【米山梅吉】</b>  1986年、617ページ 米山梅吉先生伝記刊行会 編	人物研究論的な立場からの米山梅吉の実録。
071	<b>【福島喜三次伝】</b>  1966年、102ページ 有田ロータリークラブ	日本人第1号のロータリアン福島喜三次の伝記。
072	<b>【ロータリー余話】</b>  1994年、106ページ 津田 進 著（パストガバナー）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロータリーの難問（起・承・転・結）</li> <li>・第5の男（第5の男・ザ・ロータリアン発行情報・ハリリー・ラグルスは語る）</li> <li>・規定審議会両月抄（シカゴの雨・シンガポールの月）</li> </ul>
073	<b>【ロータリー夜話・茶話】</b> <抜粋編>  1994年、141ページ 津田 進 著（パストガバナー）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員増強の中心課題</li> <li>・マレーシアの旅</li> <li>・魔法の杖</li> <li>・シッタールタ</li> <li>・二頭の鹿</li> <li>・対談 長瀬富郎</li> <li>・1930年 フランク L マルフォランド</li> </ul>
074	<b>【おもろいヤンキーつむじ風】</b>  1990年、233ページ 西村 宗 著	ことば、生活習慣の違いから次々に衝突をくり返しながらもオローサン（著者夫人）の支えで徐々に日本の生活にとけ込んでゆくアメリカ女子高生（ジェーン）の姿がユーモラスに語られる。ホームステイ顛末記。
075	<b>【ロータリー運動とは…】</b>  1991年、95ページ 小堀 憲助 著	講演三篇を文章化したもの。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小林ロータリークラブ創立第30周年記念講演</li> <li>・大村北ロータリークラブ創立第15周年記念講演</li> <li>・八幡浜ロータリークラブ</li> </ul>

## 貸 し 出 し 図 書 (12)

No.	図 書 名	備 考
076	<b>【はげすずめ】</b> 1974年、139ページ 安野 譲次 著	一宮RCで会長2回、地区ガバナー2回、国際協議会の討議リーダーを2回やられ、過去24年のロータリーライフの間に感じたことや、教えられたことを自分なりに書き綴った。
077	<b>【あなたの地球社会を知れ】</b> 21ページ 国際ロータリー	地域社会の改善という仕事において、地域社会の必要事項と問題の調査を援助するために作られた。8種類の主題ごとの質問表を提案。
078	<b>【ロータリーと私 奉仕こそがわがつとめ】</b> 1979年、90ページ 秋山 康之進 著	パストガバナー（1969-1970年度）秋山康之進氏（札幌ロータリークラブ）のロータリーライフについて綴られたもの。
079	<b>【世界と共に】</b> 1964年、129ページ 直木 太郎 著	前編である「われらのつどい」の続きで、1945～1964年頃までの国際ロータリーにおける日本のロータリークラブの変遷をまとめたもの。
080	<b>【ロータリーへの道 改訂版】</b> 1993年、350ページ ポール・ハリス 著 柴田 實 訳	ロータリーの創始者であるポール・ハリスの自叙伝を翻訳したもの。
081	<b>【はぐるま】</b> 1978年、123ページ 函館東ロータリークラブ	函館東ロータリークラブ創立20周年を記念して制作された職業奉仕事例集。職業奉仕委員会の事業他、各会員がそれぞれの職業奉仕を主軸とした職業観、生活信条、体験談を寄稿しまとめたもの。
082	<b>【続はぐるま】</b> 1981年、148ページ 函館東ロータリークラブ	No.081【はぐるま】の続編。 ロータリーに関する事例に限らず、会員各自の生活信条、体験談、健康法、趣味、職業上の信念、自己業界の現況、卓話の集積、奉仕事例等の寄稿をまとめたもの。
083	<b>【ロータリーを巡るエッセー】</b> 1980年、157ページ 佐竹 郁夫 著	旭川ロータリークラブ元会長 佐川郁夫氏を悼み、氏のエッセイ等をまとめたもの。

## 貸 し 出 し 図 書 (13)

No.	図 書 名	備 考
084	<p><b>【ただいま、日本人～留学生日本印象記】</b></p> <p>1980年、103ページ 国際ロータリー第258地区 R I 75周年記念事業推進委員会</p>	<p>国際ロータリー創立75周年を記念し、ロータリーの青少年に関するプログラムによって日本に留学している学生に日本の印象を綴ってもらい、まとめたもの。</p>
085	<p><b>【奉仕の一世紀】</b> 国際ロータリー物語</p> <p>2003年 デイビッドC. フォワード 著 日本語訳監修 菅野 多利雄</p>	<p>ロータリー創立100周年のためにR Iが著作を依頼したものの。ロータリーの歴史、プログラムの発展、ロータリアンが世界を変えた実例などを鮮明に綴った一冊。驚くべき事実、語られたことのない逸話、未公開写真などが豊富に紹介。</p>
086	<p><b>【Golden Strand】</b></p> <p>1998年、323ページ Oren Arnold 著 田中 毅 訳</p>	<p>シカゴ・クラブの60年の歩みを小説風書き綴ったもの。すべての奉仕クラブのマザー・クラブとして、試行錯誤を繰り返しながら歩んできたシカゴ・クラブの歴史を学ぶことができる。</p>
087	<p><b>【The Meaning of Rotary】</b> ロータリー解析</p> <p>1999年、99ページ Vivian Carter 著 田中 毅 訳</p>	<p>四大奉仕に分割されたロータリーの理念と活動を、会員に理解してもらうために書かれた啓蒙書。</p>
088	<p><b>【職業倫理】</b></p> <p>1989年、62ページ 東京東ロータリークラブ発行 佐藤 千壽 著</p>	<p>佐藤千壽バスターガバナー（東京東RC）による職業倫理についての解説。</p>
089	<p><b>【ロータリーと禁欲の倫理】</b></p> <p>1991年、59ページ 大分ロータリークラブ発行 佐藤 千壽 著</p>	<p>1991年大分ロータリークラブ創立40周年記念式典における、佐藤千壽バスターガバナーの記念講演。</p>

## 貸 し 出 し 図 書 (14)

No.	図 書 名	備 考
090	<p><b>【本卦還り】</b>                      -新千年紀を展望して-</p> <p>1999年、61ページ                      国際ロータリー第2640地区                      国際ロータリー第2800地区                      佐藤 千壽 著</p>	<p>1999年に開催された第2640地区職業奉仕委員長会議における佐藤千壽パストガバナーの講演。</p>
091	<p><b>【一年】</b>                      この長くてこのつかの間のもの</p> <p>1976年、159ページ                      後藤 光正 著</p>	<p>飯田南ロータリークラブの元会長、後藤光正氏の1975-1976年度に於ける会長司会時間の記録。</p>
092	<p><b>【ふりかえれば未来が見える】</b>                      -芝染太郎伝-</p> <p>1996年、139ページ                      国際ロータリー第2820地区                      芝染太郎調査研究委員会</p>	<p>東京ロータリークラブの会員であり、日満ロータリー連合会の初代専任幹事であった芝染太郎の足跡を調査研究し、まとめたもの。</p>
093	<p><b>【私のめざしたロータリー                      この一年】</b></p> <p>1978年、232ページ                      田中丸 善三郎 発行</p>	<p>田中丸善三郎パストガバナー（1976-1977年度、当時370地区）の関係者の方、ロータリアンの方からの寄稿、ご本人の原稿をまとめたもの。</p>
094	<p><b>【一冊の本】</b></p> <p>1983年、217ページ                      山賀 勇 著</p>	<p>小樽ロータリークラブの山賀勇パストガバナー（1982-1983年度、当時251地区）が身辺雑記を綴った記録。</p>
095	<p><b>【落穂集】</b></p> <p>1976年、171ページ                      青森ロータリークラブ                      三浦 永祐 発行</p>	<p>青森ロータリークラブの斉藤堅治パストガバナー（1964-1965年度、当時352地区）のロータリー情報懇談会での講演。</p>
096	<p><b>【ロータリーの四季】</b></p> <p>1995年、302ページ                      小久保 晴行 著</p>	<p>東京江戸川ロータリークラブの小久保晴行パストガバナー（1994-1995年度、第2580地区（東京・沖縄））のガバナーの記録。</p>

## 貸し出し図書(15)

No.	図 書 名	備 考
097	<b>【ロータリー随想集】</b> お茶のあとに  2000年、93ページ 高松北ロータリークラブ 藤川 幸助 著	著者が高松北ロータリークラブ、1997-98年度の会報に一年に亘って掲載した随想をまとめたもの。
098	<b>【マスター・フォア ・サービス】</b>  1998年、248ページ 白石 欽一 著	札幌手稲ロータリークラブの白石欽一パストガバナー(1990-1991年度、第2510地区(北海道西部))による札幌手稲ロータリークラブ創立以来の歴史とガバナー就任以来の記録。
099	<b>【永遠の課題・職業倫理】</b>  2008年、217ページ 佐藤 千壽・深川 純一 著 伊丹ロータリークラブ 発行	伊丹ロータリークラブ創立50周年を記念し、佐藤千壽パストガバナー(東京東RC)、伊丹ロータリークラブ深川純一会員による職業奉仕、職業倫理についてまとめたもの。
100	<b>【今田 恵】</b> -人とそのロータリー思想-  1982年、212ページ 「今田恵のロータリー思想」を 発掘する会 編集 西宮ロータリークラブ 発行	西宮ロータリークラブの今田恵パストガバナー(1958-1959年度、当時365地区)の関係者の方、ロータリアンの方からの寄稿、ご本人の遺稿をまとめたもの。
101	<b>【過ぎし時に敬意を表して： ポール・ハリス語録】</b>  1996年、147ページ 国際ロータリー 発行	ロータリーの創始者ポール・ハリスの講演と著書からの感動的な引用の数々。
102	<b>【大夢翁 土谷原作】</b>  1996年、198ページ 日出ロータリークラブ第二次 土屋原作委員会 編集 日出ロータリークラブ 発行	草創期の大阪ロータリーで活躍し、斯界の発展に尽くした大夢翁土屋原作氏の伝記。氏の出身である日出ロータリークラブによって発刊。
103	<b>【ロータリー茶話】</b>  1989年、143ページ 津田 進 著	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魔法の杖</li> <li>・二頭の鹿</li> <li>・対談・長瀬富郎</li> <li>・シンガポールの月</li> <li>・シッタータ</li> <li>・四つのテストの物語</li> <li>・1930年・マルフォランド</li> </ul>

## 貸 し 出 し 図 書 (16)

No.	図 書 名	備 考
104	<b>【ロータリー実務入門】</b> 1976年、193ページ 石井 省三 著	幹事、役員並びに各委員長のためにクラブの実務を体系し、必要な知識や手続、任務等をわかりやすく説明。
105	<b>【ロータリーの創始者 ポール・ハリス】</b> 1976年、157ページ 京都西南ロータリークラブ 刊行	ロータリーの創始者ポール・ハリスの生活記録。
106	<b>【我が自叙伝 改訂版】</b> 1980年、219ページ ハーバート・J・テラー 著 菅野 多利雄 訳／発行	「四つのテスト」の発案者で実業家のハーバート・J・テラー氏が「四つのテスト」を如何にして考察し、実践されたかが詳細に記述されている。
107	<b>【ロータリーの真髓】</b> 27ページ 第2760地区職業奉仕委員会	【ロータリーの真髓】をテーマに第2680地区パストガバナー深川純一氏が第2760地区職業奉仕委員会委員長会議にて行った講演（2008. 8. 21）。
108	<b>【職業奉仕とは】</b> 2009年、20ページ 尾道ロータリークラブ職業奉仕委員会	【職業奉仕とは】というテーマで第2680地区パストガバナー深川純一氏が尾道ロータリークラブ、尾道東ロータリークラブ共催による講演会での講話。（2009. 9. 11）。